

こっこめ通信 10 2016

「風に乗ったら近い島？」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

雨の多かった9月。島全域で雨が降っているというよりは、降っている地区と降っていない地区に分かれていました。このような時は雨の境がはっきりと見えておもしろいですね。また、太陽が出ていれば、太陽を背にして雨が降っている方を見るときれいな虹！なんてこともよくあります。さらに青空と白い雲のコントラストも写真撮影にはピッタリ！雨が降ってしまうとちょっと損した気分ですが、楽しみ方もたくさんあるんですよ。

さて今回は、「海を越えてやって来た」「ハチジョウアザミの謎」「今年の秋の渡り鳥情報」のお話です。

海を越えてやって来た

毎年、風に乗って島までやって来る昆虫がいます。その代表が南風に乗ってやって来る「ウスバキトンボ」。今年も春から徐々に増え始めていましたが、日本の南岸を進んだ台風13号が通り過ぎた後に急に数が増えました。ビジターセンター前の花壇でも小さな虫を求めてたくさん飛び回っています。

複雑なコースを辿った台風10号が通り過ぎた9月1日にいきなり増えたのは「ギンヤンマ」。島でも毎年見られますが、数はそれほど多くありません。珍しい部類に入るトンボが園地やスポーツ公園の芝生の上などいろいろな場所では何十匹（数えていませんが100匹以上はいたはず）も飛び回っていました。道路の上も飛んでいたため、車に当たって道路に落ちているギンヤンマがいるほどです。数日経つと数が少なくなり始めましたが、水辺に移動して産卵する姿も見られるようになっています。

9月5日、ビジターセンターにいろいろな情報を提供してくれている菊池卓さんが33mmの小さなトンボを採集し、見せにきてくれました。八丈島ではあまり見かけないトンボのため同定に自信がありませんが、大きさや胸部の模様などから「タイリクアキアカネ」の未熟雌ではないかと思われます。同定に間違いがなければ八丈島の初記録です。

トンボ以外にも「リュウキュウムラサキ」や「シロオビアゲハ」など飛んできたと思われるチョウも記録されています。また、飛んできたのか不明ですが「アカナガカメムシ」も記録されました。



ウスバキトンボ



ギンヤンマ



タイリクアキアカネ？



リュウキュウムラサキ



アカナガカメムシ

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

ハチジョウアザミの謎



アザミ属の分類学的研究 XIV



日本のアザミ

ハチジョウアザミは伊豆諸島の常緑樹林の林内や林縁で見られる日本固有のアザミです。現存する種で近縁なものは他に見当たらない不思議なアザミでもあります。さらに、形態の変異の幅が著しく広いので、同じハチジョウアザミでも違う種にも見えます。八丈島では、八丈富士側では葉の切れ込みが深く、棘も尖っているようなタイプが多く見られ、三原山側では切れ込みが少し浅く、葉が大きなタイプが多く見られます。なんだか違う種に見えるハチジョウアザミ、秋のハイキングがてら見比べてみるとおもしろいかもしれませんね。

ハチジョウアザミに関しては上記 QR コードから詳しい資料が見られます。



八丈富士側に多いタイプ



三原山側に多いタイプ

今年の秋の渡り鳥情報

9月になり秋の渡りが始まりました。ここ数年、渡ってくるメンバーは固定されつつありますが、今年の傾向をいくつか紹介します。まずは島でとても珍しい「シマアジ」が渡ってきました。滞在中は移動せず、10日ほどで旅立ちました。さらに多い年で3羽だった「セイタカシギ」が今年はなんと8羽以上！確認されています。また、いつもは成鳥が多い「キョウジョシギ」は、幼鳥が7羽以上も確認されています。渡りのシーズンは始まったばかり、これからどんな鳥が来てくれるのでしょうか？楽しみです。



9月8日 シマアジ



9月23日 アカガシラサギ



9月25日 アマサギ



9月9日 セイタカシギ幼鳥



9月21日 チュウシャクシギ



9月13日 アオアシシギ



9月2日 タカブシギ



9月9日 キョウジョシギ幼鳥



9月3日 トウネン



9月5日 ヒバリシギ



9月23日 エリマキシギ



9月8日 クロハラアジサシ



9月2日 カワセミ



9月10日 センダイムシクイ



9月13日 マミシロツメナガセキレイ

上の写真の他に、オナガガモ、コガモ、ゴイサギ、アオサギ、チュウダイサギ、チュウサギ、コサギ、ムナグロ、タシギ、クサシギ、キアシシギ、イソシギ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、ツバメ、キセキレイ、ツメナガセキレイも渡ってきました。(計 31 種)

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は9月11日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成28年第9回)参加者:茂手木、VC菊池

NO.	和名(島名)	状態	NO.	和名(島名)	状態	NO.	和名(島名)	状態
草本			36	ハシカグサ	花と実	シダ植物		
1	アオツツラフジ	花と実	37	ハチジョウアザミ	花	1	イシカグマ	
2	アオノクマタケラン	若い実	38	ヒガンバナ	花	2	オオイタチシダ	
3	アシタバ	花と実	39	ヒナギキョウ	花と実	3	オオタニワタリ	
4	アメリカスズメノヒエ	実	40	ヒメクグ	実	4	オニヤブソデツ	
5	イガガヤツリ	実	41	ヒメムカシヨモギ	蕾	5	カニクサ	
6	イヌガラシ	花と実	42	ヒメヨツバムグラ	花と実	6	コハシゴシダ	
7	ウスベニニガナ	花	43	ヘクソカズラ	若い実	7	タチクラマゴケ	
8	ウリクサ	花と実	44	ヘニバナボロギク	花	8	タチシノブ	
9	オオアレチノギク	花と実	45	ハウキギク	蕾	9	タマシダ	
10	オオバコ	実	46	ホソバツルメヒシバ	実	10	ナチシケシダ	
11	オヒシバ	実	47	メヒシバ	実	11	ナチシダ	
12	カタバミ	花と実	48	メリケンカルカヤ	蕾	12	ノキシノブ	
13	カヤツリグサ	実	49	ヤハズソウ	花	13	ハチジョウカナワラビ	
14	カラムシ	実	50	ヤマイ	実	14	ハチジョウシダ	
15	キツネノマゴ	花	51	ヨモギ	花	15	ハチジョウベニシダ	
16	クルマバザクロソウ	花と実	52	ラセイタソウ	実	16	ヒトツバ	
17	コニシキソウ	花と実				17	ホシダ	
18	コマツヨイグサ	花と実	木本			18	ホラシノブ	
19	コミカンソウ	花と実	1	アオキ	若い実	19	マツバラソ	
20	ザクロソウ	花と実	2	イヌビフ	実	20	マメヅタ	
21	シマスズメノヒエ	実	3	エノキ	実	21	ミゾシダ	
22	スイカズラ	実	4	オオムラサキシキブ	実	22	ヤマイタチシダ	
23	タケダグサ	花	5	ガクアジサイ	実	23	ワラビ	
24	タチスズメノヒエ	実	6	カラスザンショウ	実	今回はシダ植物23種を含む92種の植物を観察しました。蒸し暑く、雨も心配される天気でしたが、なんとか傘を差さずに終えることができました。参加者がお一人だけだったので、似た植物を識別するポイントなど、詳しい話もじっくりすることができました。		
25	チチコグサ	花	7	シチトウタラノキ	花			
26	ツククサ	花	8	シマクサギ	花			
27	ツルボ	花と実	9	スダジイ	実と虫こぶ			
28	テリハノブドウ	実	10	トベラ	実			
29	テンツキ	実	11	ハゼノキ	実			
30	トウバナ	花と実	12	ハチジョウキブシ	実と花芽			
31	ナキリスゲ	実	13	ヒサカキ	実			
32	ニワホコリ	実	14	ヒメユズリハ	実			
33	ノジスミレの仲間	閉鎖花	15	ホルトノキ	実			
34	ハイメドハギ	花	16	マサキ	実			
35	ハキダメギク	花	17	マンリョウ	若い実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、海岸沿いで見られる「ハマアザミ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハマアザミ

Cirsium maritimum

キク科アザミ属ナンブアザミ節ハマアザミ亜節。本州・四国・九州の太平洋側と伊豆諸島に分布しています。日本固有種

根生葉は花期にも生存しています。葉は厚く、光沢があり、鋭い刺があるので注意が必要です。夏の終わり頃から薄紫の花が咲き始めます。【富士箱根伊豆国立公園指定植物】

2016 10

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
			 この色の日 はガイドウォークや 特別行事があります			● 1 ガイドウォーク 05:47 11:52 17:59
2 ガイドウォーク 06:22 00:07 18:21 12:20	3 06:55 00:35 18:44 12:47	4 07:29 01:04 19:07 13:14	5 08:05 01:35 19:30 13:42	6 08:44 02:08 19:55 14:12	7 09:30 02:45 20:24 14:46	8 寒露 ガイドウォーク 10:34 03:30 21:00 15:35
☾ 9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 12:09 04:32 22:06 17:10	10 ガイドウォーク 13:48 05:59 19:34	11 00:15 07:29 14:48 20:47	12 01:59 08:37 15:29 21:30	13 03:07 09:30 16:04 22:07	14 04:01 10:16 16:37 22:44	15 ガイドウォーク 04:50 10:59 17:09 23:21
☾ 16 ガイドウォーク 秋の特別行事 「八丈富士裾野 ハイキング」 05:38 11:40 17:42	17 06:25 00:00 18:15 12:20	18 07:13 00:41 18:48 13:00	19 08:03 01:23 19:22 13:41	20 08:56 02:08 19:58 14:23	21 09:56 02:57 20:38 15:14	22 ガイドウォーク 八丈学講座 「秋の植物観察会」 11:12 03:54 21:33 16:31
☾ 霜降 23 ガイドウォーク 12:47 05:05 23:13 18:40	24 14:05 06:31 20:20	25 01:18 07:52 14:54 21:12	26 02:42 08:53 15:30 21:48	27 03:40 09:41 16:01 22:20	28 04:25 10:20 16:28 22:49	29 ガイドウォーク 05:03 10:54 16:53 23:16
30 ガイドウォーク 05:39 11:25 17:18 23:44	● 31 06:13 11:55 17:42					

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
10/9（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

全国自然歩道を歩こう月間

「八丈富士裾野ハイキング」

全国自然歩道を歩こう月間に合わせたハイキング、今年も八丈富士の裾野を歩きます。
10/16（9:30～ 約6時間） 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 参加費：500円（保険・交通費） 定員：20名

八丈学講座

「秋の植物観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、中之郷地区の沢の小径を歩きながら植物を観察します。
10/22（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
えこ・あぐりまーと集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2016.10.1 第185号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

夏休みが終わってあっという間の1ヶ月。9月になっても八丈島には夏を求めてたくさんの観光客の方が来てくれました。下旬になると来島者の数も少し落ち着き、長い夏が終わったなと感じます。でもウエットスーツを着れば、まだまだ海は楽しめますよ！（高）